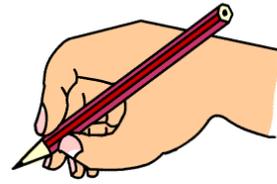


**1 正しいしせいや正しいえん筆のにぎり方について**

- 自分の活動が終わったときは、えん筆をおいて手は太ももの上に置きます。
- 先生が「しせいを正しくしなさい。」と言ったときにもそのしせいをします。
- えん筆は正しいにぎり方で持ちます。



親指・人差し指・中指でささえましょう。

**2 発表のしかたについて**

- 手をあげるときには、手のひらが見えるようにしてうではまっすぐにあげます。
- 名前をよばれたらしっかりと返事をします。教室の中心（友達のたくさんいる方）を向いて発表します。
- 発表するときには、つくえの横（つうろがわ）に立ちます。いすはそのままにします。
- 発表するときには、自分の考えを言ってから理由を言います。
- 発表するときには、最後まではっきりと言います。

**3 話の聞き方について**

- 話す人の方に体を向けて最後まで聞きます。
- 話す人はどんな考えなのかを考えながら聞きます。

**4 ノートの取り方について**

- 下じきを使います。
- ノートに、ページや日づけなどを書きます。
- 学習か題はえん筆、めあては青、まとめは赤を使ってかこみます。
- じょうぎは正しく使います。じょうぎを使わなければいけない時は必ず使うようにします。
- 習った漢字を使って書きます。

**5 つくえの上の整理について**

- つくえの上を写真のように整理します。



教科書はつくえの左がわに置きます。

じゅ業で使う筆記用具は、つくえの上の方におきます。

（えん筆2本、赤・青えん筆、じょうぎ、消しゴム）

ノートはつくえの右がわにおきます。

筆箱には、えん筆5本以上、赤・青えん筆、消しゴム、定ぎ、ネームペンを入れます。

- ふでばこは引き出しに入れます。
- 左ききの人は、教科書とノートが反対になります。

**6 いすの整理について**

- 特別教室に行ったり教室をはなれたりする時には、いすをつくえの中にきちんと入れます。

**7 筆箱の中身について**

- えん筆5～6本（家でとがす）、赤・青えん筆、消しゴム、じょうぎ、ネームペン（フェルトペン）を入れます。それ以外のものは、先生から指示があったら持ってきます。